事務事業評価シート（25年度実施事務事業）

総合計画の施策名		細河地域の活性化	担当部署名	市民生活部地域活性課	担当課長名	東　勇輔
事務事業名	(※)第1期実施計画の事業名	植木産業活性化事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	1022	1	
	財務会計上の事業名	**植木産業活性化事業**	財務会計上の短縮番号	4239		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1　事務事業の概要

事業区分	☑サービス事業　☐プロジェクト事業　☐定型事業　☐投資的事業
会計区分（会計名を記入）	☑一般会計　☐特別会計（　　）　☐企業会計（　　）
事業の対象【誰（何）を】	細河地域で植木生産を行う認定農業者の有志
事業の手段【どうする（させる）ことで】	細河植木見本園の維持管理及び見本園を活用した植木産業のPR活動
事業の目的【どのような結果を得るか】	植木産業の活性化並びに担い手の育成
実施期間	☑継続　（平成15年度　～　）　☐時限　（平成　年度～平成　年度）
事業内容の見直し	☑実施　（直近）平成23年度　☐未実施
※見直し内容を記入	細河植木見本園の維持管理及び見本園を活用した植木産業のPR活動を細河植木塾22に委託。
実施根拠	☐国・府の制度　☐国・府の制度＋市独自の制度　☑市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2　事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分		23年度（決算）		24年度（決算）		25年度（決算）		26年度（予算）		H25/H24
	事業費（千円）			332		351		383		422	109.1%
	人件費（人・千円）		0.20	1,600	0.20	1,560	0.21	1,638	0.21	1,638	105.0%
	内訳	正職員	0.20	1,600	0.20	1,560	0.21	1,638	0.21	1,638	105.0%
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	－
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	－
		非常勤職員		0		0		0		0	－
		アルバイト		0		0		0		0	－
	支出合計 A			1,932		1,911		2,021		2,060	105.8%
	財源	国・府支出金									－
		受益者負担 B									－
		その他財源									－
		一般財源		1,932		1,911		2,021		2,060	105.8%
	受益者負担率 B÷A										－

指標値	区分		内容	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（予定）	目標値（H26）
(1)	☐活動	☑成果	勉強会の実施	回	12	12	12	12	12
(2)	☐活動	☑成果	見本園イルミネーション	週	6	6	6	6	6
(3)	☐活動	☐成果							
(4)	☐活動	☐成果							

3　成果の達成状況等

成果の達成状況	☑A　目標に向かって順調に推移している　☐B　目標に向かって順調に推移していない　☐C　判断できない
26年度の取組方針	☐1　事業内容・手法を改善　☑2　現在の事業内容を継続　☐3　事務事業を廃止
選択の理由	細河植木産業のPR及び活性化に寄与している。（見本園管理、イルミネーションの実施等） また、勉強会の内容や見本園の改修等、自発的な活動が拡大している。

（参考）今後のアウトソーシング導入の可否	☑1　導入済　☐2　事業の全てが可能　☐3　事業の一部が可能　☐4　不可能
選択の理由	地元の認定農業者団体である「細河植木塾22」に植木見本園の管理・運営を委託している。

4　担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	（参考）昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
地元の認定農業者団体である「細河植木塾22」に植木見本園の管理・運営を委託している。細河植木産業のPRを市内外に行ってきた活動が実を結び、植木塾としての作業を受けることも増えてきている。当事業を継続することで細河植木産業の更なる活性化と担い手の育成につなげる。	植木見本園の適切な管理を行うと共に、各種イベントに参加するなど、細河植木産業の啓発・PR活動を精力的に行っている。また、月1回の勉強会では外部団体・業者などを招いて新しい販路や新商材についての研究が行われており、当事業の継続が細河植木産業の活性化につながると考えられる。